

## 食品ロス削減ガイドブックの教育現場での活用のすすめ

食品ロス削減は、SDGsの達成に直結する、身近で実践できる学習テーマです。本ガイドブックは、教科や学年を問わず、子どもたちが食品ロス問題を「自分ごと」として捉え、行動につなげられる教材となっています。

沖縄県では、年間約4.1万トン（県民1人あたり年間約28kg）の食品ロスが発生しており、その半分以上が家庭から排出されています。主な発生要因は、食べ残し、賞味・消費期限切れ、作りすぎ・買いすぎなど、日常生活における何気ない行動の積み重ねです。



家庭の行動を直接変えることには難しさがありますが、生活習慣が形成される子どもの時期に学ぶことには大きな意義があります。また、学校教育として食品ロスの問題を取り上げることで、子どもを通じて家庭へ学びが広がる効果も期待されます。





食品ロスは、総合的な学習の時間に限らず、給食や家庭科など既存の教育活動と結びつけやすい身近な題材です。短時間でも継続的な学習が可能である点も特長です。本ガイドブックは、朝の会、給食時間、社会科、家庭科、総合的な学習の時間など、日常の教育活動の中で無理なく活用できる内容となっています。

## 食品ロスとSDGsの関係性

食品ロスの問題は、環境、資源、消費行動、地域社会など、複数の視点から考えることができる教材であり、SDGsの視点を踏まえた探究的な学習にもつながります。

食品が食べられずに廃棄されるまでには、生産（農業・漁業）、加工、輸送、販売、調理などの各過程において、多くの資源やエネルギー、人手が使われています。そのため、食品ロスを減らすことは、温室効果ガスの削減、資源循環の推進、貧困問題への対応、持続可能な消費行動の促進など、幅広いSDGsの達成につながります。

SDGs	目標	食品ロスとの関わり
	目標12「つくる責任 つかう責任」	ターゲット12.3では、「2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。」ことが国際的に求められています。 食品ロスを減らすことは、必要な分を作り、無駄なく消費する「持続可能な生産と消費」につながります。そのためには、生産者、販売者、消費者など、それぞれの立場から食品ロスの問題を理解し、資源を無駄なく活用する持続可能な消費行動について考え、行動することが重要です。
	目標13「気候変動に 具体的な対策を」	食品が廃棄されると、食品の生産・輸送・保存（冷蔵・冷凍）などの過程で使用されたエネルギーが無駄になるとともに、CO <sub>2</sub> が排出されます。さらに、廃棄された食品の運搬や焼却処理の過程でもCO <sub>2</sub> が排出されるため、食品ロスの削減は気候変動対策につながります。

SDGs	目標	食品ロスとの関わり
	<p>目標 2 「飢餓をゼロに」</p>	<p>世界では、十分な食料が生産されている一方で、食料不足に苦しむ人々も存在しています。</p> <p>その中で、まだ食べられる食品が大量に廃棄されている現状は、食料資源が有効に活用されていない状況と言えます。</p> <p>食品ロス削減の取組の一つとして、フードバンク活動や食品寄附など、必要とする人へ食品を届ける活動も行われています。</p>
	<p>目標 11 「住み続けられるまちづくりを」</p>	<p>食品ごみは水分を多く含むため、燃やしにくく、焼却時に多くのエネルギーが必要になります。さらに、ごみの収集や焼却処理には多くの費用がかかっており、その一部は私たちの税金によって支えられています。</p> <p>そのため、食品ロスを減らすことは、環境負荷の低減だけでなく、ごみ処理費用の削減にもつながります。</p>
 	<p>目標 14 「海の豊かさを守ろう」</p> <p>目標 15 「陸の豊かさを守ろう」</p>	<p>食品を生産するためには、農地、水、森林、海洋資源など、多くの自然資源が利用されています。</p> <p>食品ロスを減らすことは、必要以上の生産や資源消費を抑えることにつながり、森林開発や水資源の過剰利用、海洋資源の乱獲などを防ぎ、自然環境の保全にもつながります。</p>

### ガイドブック活用シーン（参考例）

食品ロス削減の学習は、SDGsを「知識」として学ぶだけでなく、子どもたちの日常行動へとつなげる教育です。本ガイドブックは、短時間でも教科を選ばず、地域の課題と結びつけて授業に活用することができます。

活用シーン		活用方法	対象ページ	所要時間
学校	朝の会、帰りの会	今日の食品ロスクイズ（1問程度）	All	3分
	社会科 （環境学習）	ごみ問題と食品ロスの関係を考える 環境や資源、経済負荷を考える 産業との関りを知る（事業者の取組を知る）	p.1-4 巻末	45分
	家庭科	賞味期限・消費期限の違いを知る 生活との関り（整理整頓、家計負担）を知る 環境に配慮した賢い買い物行動を知る	p.5-14	各15分
	給食時間	食べ残しについて考える 残さない工夫を考える 今日の食べきりチャレンジ	p.13-14	各5分
	総合的な学習 （探究学習）	横断的な学習	All	45分
	SDGs活動、 ESD（持続可能な開発のための教育）	課題を自分ごととして捉え、行動できる人を育てる	All	45分
	学習発表会	私たちにできる食品ロス削減アクション（各科目の学習まとめ＋自主宣言）	All	26時間 <sup>1</sup>
その他	パネル展	ポスター掲示（沖縄県の現状） ガイドブック配布	All	-
	会報、広報誌	コラム発信ネタ	All	-
	イベント、講座	ガイドブック配布	All	-

<sup>1</sup> 東京都教育委員会 [https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/02\\_p52-56](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/02_p52-56)